

# 新機能リスト

この文書では、以前のバージョンでは使用できなかった、ICMLive Operator Client 2023.2 から新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。



## Clip Meshing 法を用いる際の粗度ゾーンの重なりに関する拡張

粗度ゾーンのプロパティに **優先度** という新しいフィールドが追加され、Clip meshing でメッシュを生成する際に粗度ゾーンが重なっているメッシュの粗度値の優先度を決定できるようになりました。これにより、優先度の値が最も小さい(＝優先度が最も高い)粗度ゾーンは、優先度の値がより大きい(＝優先度が低い)粗度ゾーンが重なっているとき、粗度ゾーンが重なる箇所のメッシュの粗度値には優先度の値が最も小さい粗度ゾーンの粗度値が適用されます。これにより、ICMLive では、Clip Meshing 法を用いてメッシュを生成する場合、ゾーンが重なっている部分の粗度値は優先度に基づいて割り当てられるようになりました。

詳細は、[Roughness Zone Data Fields \(InfoWorks\)](#) および [Roughness Zone Data Fields \(SWMM\)](#) をご覧ください。

## 地形モデルのテーマの改善

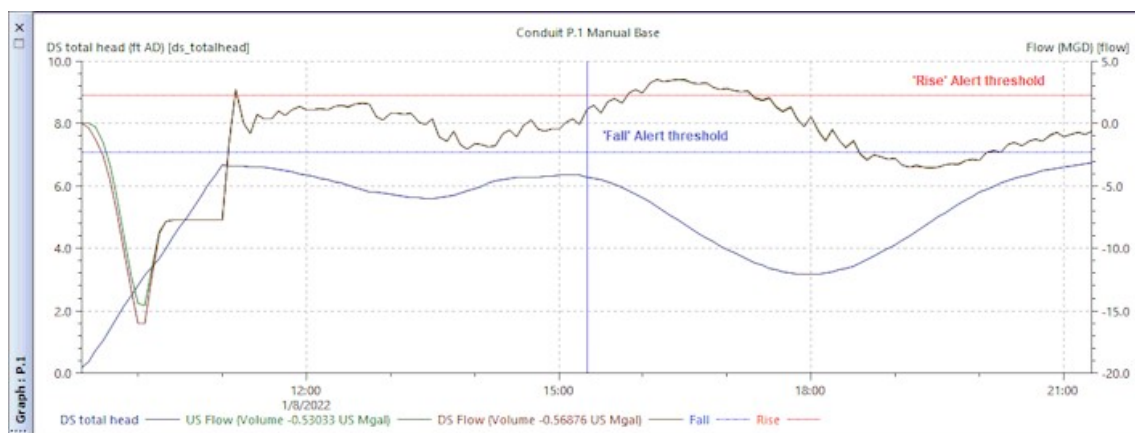
ジオプラン上に表示される地形モデルの標高値の範囲をより便利に更新できるようレイヤーテーマエディタが改良され、新たに **Value Range** という項目が追加されました。この項目には **Restrict range** というチェックボックスがあり、チェックを入れて有効にすることで、範囲テーマグリッドの **値** 列に表示される値の範囲を、**最小** ボックスと **最大** ボックスに指定した値へと制限することが可能となりました。

さらに、地形モデルのテーマにおいて、範囲テーマグリッドの **値の数** が編集可能になりました。これにより、従来のように **プラスボタン** と **マイナスボタン** (   ) を使用して範囲内の値を追加・修正するのではなく、範囲で設定する値の数を直接入力し使用できるようになりました。設定する値の数を増減させると、**値** 列に表示される標高値は、選択した分布タイプに従って自動計算されます。

詳細は、[Displaying a Ground Model on the GeoPlan](#) をご覧ください。

## アラート定義のグラフトレース色に関する拡張

ICMLive Configuration Manager のアラート定義リストに**グラフトレース** 色が含まれている場合、ICMLive Operator Client の **結果ツールバー** にあるグラフツール(📊)を使用すると、選択されている色でその **アラート閾値** が表示されるようになりました。同様に、ICMLive Configuration Manager において、アラートが適用されるデータに対して、カスタムグラフが設定されており、これらのカスタムグラフが ICMLive Configuration Manager から展開されたマニフェストに含まれている場合、ICMLive Operator Client の **結果ツールバー** にあるカスタムグラフツール(📊)を使用すると、選択されている色でそのアラート閾値が表示されるようになりました。



アラートによってメールの送信がトリガーされ、その操作リスト(ICMLive Configuration Manager で定義)にカスタムグラフが含まれている場合、そのメールに含まれるグラフのアラート閾値も選択したグラフトレース色で表示されます。

## InfoWorks 下位集水域に CNSWMM 流出モデルが使用可能に

InfoWorks の下位集水域において、新たな流出量モデルである CNSWMM が使用できるようになりました。このモデルはアメリカ合衆国環境保護庁(EPA)によって開発された SWMM (Storm Water Management Model) Curve Number infiltration モデルに基づいています。

このモデルを使用できるよう、**地表面流出面** の **地表面流出量タイプ** に **CNSWMM** が追加されました。地表面流出面は、**土地利用** オブジェクトに関連付けられています。**地表面流出量タイプ** が **CNSWMM** に設定されている地表面流出面は、1 つの土地利用に対して 1 つだけ関連付けることができます。また、**地表面流出量タイプ** が **CNSWMM** に設定されている地表面流出面に関連付けられている土地利用には、**地表面流出量タイプ** が **Fixed** に設定されている他の地表面流出面のみを関連付けることができます。

シミュレーションに CNSWMM 流出モデルを使用するには、関連する下位集水域の**カーブナンバー**と**回復期間**を指定する必要があります。**回復期間**は **下位集水域** の新たなプロパティであり、下位集水域に関連付けられた土地利用に、**地表面流出量タイプ** が **CNSWMM** に設定された地表面流出面が含まれる場合にのみ使用できます。